

IBM Watson AIOps

AI を搭載、
自社データを活用し、
IT 障害を解決する
アプリケーション

信頼できる唯一の情報源 (single source of truth)

21 世紀において、IT インフラストラクチャーは、企業や政府をはじめとする複雑な組織の中核として機能しています。CIO（最高情報責任者）は、IT への巨額の年間投資を管理し、コストを抑制しながらシステム利用部門にイノベーションや新たなテクノロジーを提供するという、これまで以上のプレッシャーにさらされています。

今日のテクノロジー主導の状況では、ごくわずかなシステム障害でさえ、大きな経済的影響を引き起こす可能性があります。IT リーダーたちは、ダウンタイムによる影響が最も大きいのは、収益の損失（53%）、生産性の低下（47%）、企業の評判悪化（41%）であると指摘しています。¹

IT チームは、トポロジー、ログ、チケット、アラートなどから取得したデータをふるいにかけて、システム障害の予測を高めようとし、事後対応的に解決しています。データ・ソースはさまざまであり、かつツールが統一されていないことから、チームはいまだに一つにまとめられた情報をもとにシステム障害に対処するということができていません。

ハイライト

- 曖昧な推量をせず、次の IT システム障害に事前対応する
 - 構造化データと非構造化データを任意のクラウド上でマージする
 - 複雑なマルチクラウド環境とマルチベンダー環境を管理し、お客様の IT プラクティスに容易に対応する
 - 既存の ChatOps 環境内で洞察を明らかにする
 - 価値実現までの時間短縮に事前学習済みモデルを使用迅速に洞察を導き出す
 - 提示された決定事項と推奨事項を説明する
-

ある問題が検出されると、チームは複数のプラットフォームからメンバーに通知し、ネットワークの標準のランブックに従って問題を診断します。多くの場合、IT チームは、時系列に沿ったツールを使って作業しますが、システム障害に関する情報を既存のコラボレーションツールの中で、一元的に見ることができません。

IT チームの負荷を軽減し 新たな世界に

世界中の IT プロフェッショナルは圧倒的な量のデータを前にしながら、そこから真に重要な洞察を見いだすのに苦労しています。SRE (Site Reliability Engineer) は、ともすると必要なデータ・ソースの選別に大部分の時間を費やしてしまいがちですが、他の重要な業務のためにその時間を使う必要があります。

IT チームは複数の部門にまたがって迅速に運用できるように俊敏でなければなりません。システム障害が発生すると、IT プロフェッショナルは問題を診断し、作業手順書に沿って危機管理計画を策定します。

しかし、IT プロフェッショナルには作業手順書で推奨されるアクションに間違いがないという証拠は提供されません。SRE は問題に対処するために複数のソリューションを試しますが、最良の解決策を導き出せるとは限りません。

IT に AI の力を

チケット、ログ、アラートなど、さまざまな IT データを集約するプラットフォームへの需要が高まっており、これに応えるため、IBM は Watson™ AIOps を開発しました。

Watson AIOps は IBM Research による 120 件超の特許に支えられ、また NLU (自然言語理解)、機械学習、NLP (自然言語処理) といった最強の Watson テクノロジー、さらには強力なイベント管理、異常検出、イベント・グループ機能を備えており、あらゆる企業に不可欠な製品です。Watson AIOps は、アプリケーションと IT インフラストラクチャーの両者に関連する問題を正確に検知し診断します。これにより、ダウンタイムを短縮して、企業のブランドを守り、収益を支えます。

Watson AIOps はログ、チケット、アラート、トポロジーといったデータにアクセスし、既存のツールチェーンと統合されます。Watson AIOps は予測モデリングを活用して、アプリケーション・ログの異常とメトリック・ベースのアラートから全体像を把握し、潜在的な問題箇所を特定します。

Watson AIOps は、AI を搭載したアプリケーションであり、CIO のワークフローを強化します。そのために、IT 環境全体から得たデータやエビデンスを活用し、また ChatOps を介して業務に極めて重要なイベント(事象)をチームへ伝えます。Watson AIOps は、IT オペレーターが異常診断やインシデント解決に積極的に関わられるようにします。IT オペレーターが今後、同種のインシデントの解決を自動化できるよう、Watson AIOps は利用している IT ツール全体から得られた洞察を提供します。

世界中の企業にとって最大の関心事が、AI 予測と AI モデルで信頼と透明性を実現する能力であることに変わりありません。

Watson AIOps は、相関関係、因果関係、パターン識別により、明確な推奨事項を提供します。

今こそ、次の IT システム障害に備える

CIO 部門は技術投資やシームレスな統合による効果を即座に求めます。Watson AIOps は、IT 運用分野における問題を対象とした、根本原因の分析のためのすぐに使える AI モデルを提供します。このテクノロジーは既存の IT 運用ツールと統合でき、AI モデルのカスタマイズを可能にします。この製品で、企業は、異種システム全体にわたり、リアルタイムに異常の評価、診断、対応を行い、企業の信頼性と可用性を向上できます。それがひいては、投資に対する大幅な利益と、オンラインでの自社の評価の維持につながります。

IBM は包括的な洞察をリアルタイムに提供し、また対話的なエンゲージメント・エクスペリエンスを創出することにより、安心感をもたらし、ビジネス・ワークフローを迅速にします。IBM Watson AIOps を使用すると、IT チームは、単により多くのデータを得るのではなく、洞察を得ることができます。これによって、より迅速な開発サイクルにも運用が対応できるようになり、スキル要件を減らしながら、財務目標を超える能力を高めることができます。

Watson AIOps は、企業の AI ファースト戦略の実行を支援し、データの運用とワークフローの変革を可能にします。IBM の AI を搭載した洞察を得るためのプラットフォームを IT 環境と開発ツールチェーン全体で利用することで、これからの CIO は、企業内エクスペリエンスの変革と、リスクの低減を実現するとともに、顧客の期待を上回り、そして価値を生み出せるようになります。

まとめ

Watson AIOps を使用すると、IT 運用の中核に AI を据えて、すべてのビジネス・ワークフローに適用し、アプリケーションとインフラストラクチャーの管理を集約できるようになります。

IBM Watson AIOps は、IBM が持つエンタープライズに関する豊富な専門知識を、基幹業務を支える複雑な IT 環境の管理に活用できるようにします。お客様が、効率の最大化とコストの削減、さらには効果的なイノベーション推進に必要なレジリエンシーとセキュリティの維持を実現できるよう、IBM はお客様の IT 運用における AI の活用を支援いたします。

お問い合わせ

IBM Watson AIOps の詳細は、IBM の担当者または IBM ビジネス・パートナーに連絡していただくか、次の Web サイトをご覧ください。

<https://www.ibm.com/jp-ja/products/watson-aiops>

脚注

¹ “The Real Costs of Planned and Unplanned Downtime,” Forrester opportunity snapshot (「計画のおよび計画外ダウンタイムによる実際のコスト」、Forrester オポチュニティー・スナップショット) : IBM 委託によるカスタム調査、2019 年 8 月 [ibm.com/downloads/cas/L57KW7ND](https://www.ibm.com/downloads/cas/L57KW7ND)

IBM Watson AIOps

機能とメリット

機能	メリット
オープン・プラットフォーム	デプロイ先を選べます。選択したクラウド上または希望するデプロイメント・オプションで利用可能です。
ツールチェーン統合	任意のコラボレーション・プラットフォームへ接続可能です。希望する ChatOps 機能で直接アラートを配信します。
実用的な洞察	実用的な洞察を提示し、対応を改善します。大量の構造化データと非構造化データを複数のサイロ型システムやツールを越えてリアルタイムに関連付けることで、隠れた洞察を明らかにし、根本原因をより迅速に見つけ出します。
予測モデリング	データの全体像を明らかにして、問題を迅速に診断します。アプリケーション中心の手法により、さまざまなコンポーネントにビジネス・コンテキストをもたらします。IT オペレーターは、トポロジー、ログ、チケット、アラートから得られたデータの選別に大部分の時間を費やせず。Watson AIOps は、異常を明確に表示するとともにソースへのリンクも提供して、迅速に調査して解決できるようにします。
インテリジェント・ワークフロー	一貫性のあるアプリケーションとデプロイメント・ポリシーを定義し、よりインテリジェントなワークフローを実現します。ハイブリッドなマルチクラウド環境でのセキュリティの自動化とは、カスタム・コーディングに依存したり複数のソフトウェア・パッケージや手動プロセスで作業したりするのではなく、リソース全体でポリシーを一貫して実施することを意味します。

IBM を選ぶ理由

IBM Cloud は、最もオープンかつ安全な企業向けパブリッククラウド、次世代ハイブリッド・マルチクラウド・プラットフォーム、データおよび AI の先進機能、20 の業界にわたる深い企業向け専門知識を提供します。

IBM は、データ、コンテナ、AI、IoT、ブロックチェーンをカバーする 170 を超える製品とサービスによるフルスタック・クラウド・プラットフォームを提供します。詳細は <https://www.ibm.com/jp-ja/cloud> をご覧ください。

© Copyright IBM Corporation 2020.

IBM、IBM ロゴおよび ibm.com は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストは、以下の Web サイトをご覧ください。

<https://www.ibm.com/legal/us/en/copytrade.shtml>

このドキュメントで参照されている可能性のあるサード・パーティーの商標は、以下をご覧ください。

https://www.ibm.com/legal/us/en/copytrade.shtml#section_4

このドキュメントには、IBM Corporation の商標および/または登録商標である次の IBM 製品に関する情報が含まれています。

IBM の将来の方向性および指針に関するすべての記述は、予告なく変更または撤回される場合があります。これらは目標および目的を提示するものにすぎません。